

株式会社浜田昭石 レンタカー&リース

貸渡約款

平成 23 年 5 月 1 日施行

第1章 総則

第1条 (約款の適用) 当社は、この約款の定めるところにより、貸渡自動車 (以下「レンタカー」といいます。) を借受人に貸し渡すものとし、借受人はこれを借り受けるものとし、

なお、この約款に定めのない事項については、法令又は一般の慣習によるものとし、

2 当社は、この約款の趣旨、法令、行政通達及び一般の慣習に反しない範囲で特約に応ずることがあります。特約した場合には、その特約が約款に優先するものとし、

第2章 予約

第2条 (予約の申込み) 借受人は、レンタカーを借りるにあたって、約款及び別に定める料金表等に同意のうえ、別に定める方法により、あらかじめ車種クラス、借受開始日時、借受場所、借受期間、返還場所、運転者、チャイルドシート等の付属品の要否、その他の借受条件 (以下「借受条件」といいます。) を明示して予約の申込を行うことができます。

2 当社は、借受人から予約の申込があったときは、原則として、当社の保有するレンタカーの範囲内で予約に応ずるものとし、

第3条 (予約の変更) 借受人は、前条第1項の借受条件を変更しようとするときは、あらかじめ当社の承諾を受けなければならないものとし、

第4条 (予約取消し等) 借受人は、別に定める方法により、予約を取り消すことができます。

2 借受人が、借受人の都合により、予約した借受開始時刻を1時間以上経過してもレンタカー貸渡契約 (以下「貸渡契約」といいます。) の締結手続きに着手しなかったときは、予約が取り消されたものとし、

3 前2項の場合、借受人は、別に定めるところにより予約取消手数料を当社に支払うものとし、

4 事故、盗難、不変換、リコール、天災その他の借受人もしくは当社のいずれかの責によらない事由により貸渡契約が締結されなかったときは、予約は取り消されたものとし、

第5条 (代替レンタカー) 当社は、借受人から予約のあった車種クラスのレンタカーを貸し渡すことができないうときは、予約と異なる車種クラスのレンタカー (以下「代替レンタカー」といいます。) の貸し渡しを申し入れることができるものとし、

2 借受人が前項の申入れを承諾したときは、当社は車種クラスを除き予約時と同一の借受条件で代替レンタカーを貸し渡すものとし、ただし、代替レンタカーの貸渡料金が予約された車種クラスの貸渡料金より高くなるときは、予約した車種クラスの貸渡料金によるものとし、予約され

た車種クラスの貸渡料金より安くなるときは、当該レンタカーの貸渡料金によるものとし、

3 借受人は、第1項の代替レンタカーの貸渡しの申入れを拒絶し、予約を取り消すことができるものとし、

第6条 (免責) 当社及び借受人は、予約が取り消され、又は貸渡契約が締結されなかったことについては、第4条及び第5条に定める場合を除き、相互に何らの請求をしないものとし、

第7条 (予約業務の代行) 借受人は、当社に代わって予約業務を取り扱う旅行代理店、提携会社等 (以下「代行業者」といいます。) において予約の申込をすることができます。

2 代行業者に対して前項の申込みを行った借受人は、その代行業者に対してのみ予約の変更又は取消しを申し込むことができるものとし、

第3章 貸渡し

第8条 (貸渡契約の締結) 借受人は第2条第1項に定める借受条件を明示し、当社はこの約款、料金表等により貸渡条件を明示して、貸渡契約を締結するものとし、ただし、貸し渡すことができるレンタカーがない場合又は借受人もしくは運転者が第9条第1項又は第2項各号のいずれかに該当する場合を除きます。

2 貸渡契約を締結した場合、借受人は当社に第11条第1項に定める貸渡し料金を支払うものとし、

3 当社は、監督官庁の基本通達 (注1) に基づき、貸渡簿 (貸渡原票) 及び第14条第1項に規定する貸渡証に運転者の氏名、住所、運転免許の種類及び運転免許証 (注2) の番号を記載し、又は運転者の運転免許証の写しを添付するため、貸渡契約の締結にあたり、借受人に対し、借受人の指定する運転者 (以下「運転者」といいます。) の運転免許証の定時を求め、及びその写しの提出を求め、この場合、借受人は自己が運転者である時は自己の運転免許証を提示し、及びその写しを提出するものとし、借受人と運転者が異なる時は運転者の運転免許証を提示し、及びその写しを提出するものとし、

(注1) 監督官庁の基本通達とは、国土交通省自動車交通局長通達「レンタカーに関する基本通達」 (自旅第138号平成7年6月13日) の2 (10) 及び (11) のことを言います。

(注2) 運転免許証とは、道路交通法第92条に規定する運転免許証のうち、道路交通法施行規則第19条別記様式第14条の書式の運転免許証をいいます。また、道路交通法第107条の2に規定する国際運転免許証又は外国運転免許証は、運転免許証に準じます。

4 当社は貸渡契約の締結にあたり、借受人及び運転者に対し、運転免許証の他に本人確認ができる書類の提出を求め、及び提出された書類の写しを取ることがあります。

5 当社は貸渡契約の締結にあたり、借受期間中に借受人及び運転者と連絡するための携帯電話等の告知をもとめます。

6 当社は貸渡契約の締結にあたり、借受人に対し、クレジットカードもしくは現金による支払を求め、又はその他の支払条件を指定することがあります。

第9条 (貸渡契約の締結の拒絶) 借受人または運転者が次の各号のいずれかに該当するときは、貸渡契約を締結することができないものとし、

- (1) 貸し渡すレンタカーの運転に必要な運転免許証の提示がないとき。
- (2) 酒気を帯びているとき。
- (3) 麻薬、覚せい剤、シンナー等による中毒症状等を呈しているとき。
- (4) チャイルドシートがないにもかかわらず、6歳未満

の幼児を同乗させるとき。

(5) 暴力団、暴力団関係団体の構成員もしくは関係者又はその他の反社会的組織に属しているものであると認められたとき。

2 借受人又は運転者が次の各号のいずれかに該当するときは、当社は貸渡契約の締結を拒絶することができるものとし、

- (1) 予約に際して定めた運転者と貸渡契約締結時の運転者とが異なる時。
- (2) 過去の貸渡において、貸渡料金の支払を滞納した事実があるとき。
- (3) 過去の貸渡において、第17条各号に掲げる行為があったとき。
- (4) 過去の貸渡において、貸渡約款又は保険約款違反により、自動車保険が適用されない事実があったとき。
- (5) 別に明示する条件を満たしていないとき。

3 前2項の場合は、予約の取り消しがあったものとして取り扱い、借受人から予約取消手数料の支払いがあったときは、受領済みの予約申込金を借受人に返還するものとし、

第10条 (貸渡契約の成立等) 貸渡契約は、借受人が当社に貸渡料金を支払い、当社が借受人にレンタカーを引き渡したときに成立するものとし、この場合、受領済みの予約申込金は貸渡料金の一部に充当されるものとし、

2 前項の引渡しは、第2条第1項の借受開始日時に、同項で明示された借受場所で行うものとし、

第11条 (貸渡料金) 貸渡料金とは、以下の料金の合計金額をいうものとし、当社はそれぞれの額又は計算根拠を料金表に明示します。

- (1) 基本料金
 - (2) 特別装備料
 - (3) ワンウェイ料金
 - (4) 燃料代
 - (5) 配車引取料
 - (6) その他の料金
- 2 基本料金は、レンタカーの貸渡時において、当社が地方運輸局運輸支局長に届け出て、実施実施している料金によるものとし、

3 第2条による予約をした後に貸渡料金を改定したときは、予約時に適用して料金と貸渡し時の料金とを比較して低い方の貸渡料金によるものとし、

第12条 (借受条件の変更) 借受人は、貸渡契約の締結後、第8条第1項の借受条件を変更しようとするときは、あらかじめ当社の承諾を受けなければならないものとし、

2 当社は、前項にある借受条件の変更によって、貸渡業務に支障が生ずるときは、その変更を承諾しないことがあります。

第13条 (点検整備及び確認) 当社は道路運送車両法第48条 (定期点検整備) に定める点検をし、必要な整備を実施したレンタカーを貸渡するものとし、

2 当社は道路運送車両法第47条の2 (日常点検整備) に定める点検をし、必要な整備を実施するものをし、

3 借受人又は運転者は、前2項の点検整備が実施されていること並びに別に定める点検表に基づき車体外観及び付属品の検査によってレンタカーに整備不良がないことその他レンタカーが借受条件を満たしていることを確認するものとし、

4 当社は前項の確認によってレンタカーに整備不良が発見された場合には、直ちに必要な整備等を実施するものとし、

第14条 (貸渡証の交付、携帯等) 当社はレンタカーを引き渡したときは、地方運輸局運輸支局長が定めた事項を記載した所定の貸渡証を借受人又は運転者に交付するものとし、

2 借受人又は運転者は、レンタカーの使用、前項により交付を受けた貸渡証を携帯しなければならないものとし、

3 借受人又は運転者は、貸渡証を紛失したときは、直ちにその旨を当社に連絡するものとし、

4 借受人又は運転者は、レンタカーを返却する場合には、同時に貸渡証を当社に返還するものとし、

第4章 使用

第15条 (管理責任) 借受人又は運転者は、レンタカーの引渡しを受けてから当社に返還するまでの間 (以下「使用中」といいます。)、善良な管理者の注意義務をもってレンタカーを使用し、保管するものとし、

第16条 (日常点検整備) 借受人又は運転者は、使用中にレンタカーについて、毎日使用する前に、道路運送車両法第47条の2 (日常点検整備) に定める点検をし、必要な整備を実施しなければならないものとし、

第17条 (禁止行為) 借受人又は運転者は、使用中に次の行為をしてはならないものとし、

- (1) 当社の承諾及び道路運送車両法に基づく許可等を受けることなく、レンタカーを自動車運送事業又はこれに類する目的に使用すること。
- (2) レンタカーを所定の用途以外に使用し又は第8条第3項の貸渡証に記載された運転者以外の者に運転させること。
- (3) レンタカーを転貸し、又は他に担保の用に供する等当社の権利を侵害することと定める一切の行為をすること。
- (4) レンタカーの自動車登録番号票又は車両番号票を偽造もしくは変造し、又はレンタカーを改造もしくは改造する等その現状を変更すること。
- (5) 当社の承諾を受けることなく、レンタカーを各種テストもしくは競技に使用し又は他車の牽引もしくは後押しに使用すること。
- (6) 法令又は公序良俗に違反してレンタカーを使用すること。
- (7) 当社の承諾を受けることなくレンタカーについて損害保険に加入すること。
- (8) レンタカーを日本国外に持ち出すこと。
- (9) その他第8条第1項の借受条件に違反する行為をすること。

第18条 (違法駐車の場合の措置等) 借受人又は運転者は、使用中にレンタカーに関し道路交通法に定める違反駐車をしたときは、借受人又は運転者は自ら違法駐車に係る反則金等を納付し、及び違法駐車に伴うレッカー移動、保管などの諸費用を負担するものとし、

2 当社は、警察からレンタカーの放置駐車違反の連絡を受けたときは、借受人又は運転者に連絡し、速やかにレンタカーを移動させ、レンタカーの借受期間満了時又は当社の指示する時までに取り扱い警察署に出頭して違反を処理するよう指示するものとし、借受人又は運転者はこれに従うものとし、なお当社はレンタカーが警察により移動された場合には、当社の判断により、自らレンタカーを警察より引き取る場合があります。

3 当社は前項の指示を行った後、当社の判断により、違反処理の状況を交通反則告知書又は納付書、領収書等により確認するものとし、処理されていない場合には、処理されるまで借受人又は運転者に対して前項の指示を行うものとし、また当社は借受人又は運転者に対し、放置駐車違反をした事実及び警察署等に出現し、違反者として法律上の措置に従うことと自認する旨の当社所定の文書 (以下「自認書」といいます。) に自ら署名するように求め、借受人又は運転者はこれに従うものとし、

4 当社は、当社が必要と認めた場合は、警察に対して自認書及び貸渡証等の個人情報を含む資料を提出するよう

により借受人又は運転者に対する放置駐車違反に係る世紀人追求のための必要な協力を行うほか、公安委員会に対して道路交通法第51条の4第6項に定める弁明書及び自認書並びに貸渡証等の資料を提出し、事実関係を報告する等の必要な法的措置をとることができるものとし、借受人又は運転者はこれに同意するものとし、

5 当社が道路交通法第51条の4第1項の放置違反金納付命令を受け、放置違反金を納付した場合は借受人もしくは運転者の探索及びレンタカーの引き取りに要した費用等を負担した場合には、借受人又は運転者は当社に対して放置違反金相当額及び当社が負担した費用について賠償する責任を負うものとし、この場合、借受人又は運転者は、当社に対して当社の指定する期日までにこれらの金額を支払うものとし、

なお、借受人又は運転者が放置違反金相当額を当社に支払った場合において、罰金又は反則金を納付したことにより当社が放置違反金の還付を受けたときは、当社は受け取った放置違反金相当額を借受人又は運転者に返還します。

第5章 返還

第19条（返還責任）借受人又は運転者は、レンタカーを借受期間満了時までに所定の返還場所において当社に返還するものとし、

2 借受人又は運転者が前項に違反したときは、当社に与えた一切の損害を賠償するものとし、

3 借受人又は運転者は、天災その他の不可抗力により借受期間内にレンタカーを変換できない場合には、当社に生ずる損害に責を負わないものとし、この場合、借受人又は運転者は直ちに当社に連絡し、当社の指示に従うものとし、

第20条（返還時の確認等）借受人又は運転者は、当社立会いのもとにレンタカーを返還するものとし、この場合、通常の使用によって磨耗した箇所を除き、引渡し時の状態で返還するものとし、

2 借受人又は運転者は、レンタカーの返還にあたって、レンタカー内に借受人もしくは運転者又は同乗者の遺留品がないことを確認して返還するものとし、当社はレンタカーの返還後においては、遺留品について保管の責を負わないものとし、

第21条（借受期間変更時の貸渡料）借受人又は運転者は、第12条第1項により借受期間を変更したときは、変更後の借受期間に対応する貸渡料金を支払うものとし、

第22条（返還場所等）借受人又は運転者は、第12条第1項により所定の返還場所を変更したときは、返還場所の変更によって必要となる回送のための費用を負担するものとし、

2 借受人又は運転者は、第12条第1項による当社の承諾を受けることなく所定の返還場所以外の場所にレンタカーを返還したときは、次に定める返還場所変更違約料を支払うものとし、

返還場所変更違約料＝返還場所の変更によって必要となる回送のための費用×300%

第23条（不返還となった場合措置）当社は、借受人又は運転者が、借受期間が満了したにもかかわらず、所定の返還場所にレンタカーを返還せずかつ、当社の返還請求に応じないとき、又は借受人の所在が不明になる等の理由により不返還になったと認められるときは、刑事告訴を行う等の法的措置をとるものとし、

2 当社は前項に該当することになったときは、レンタカーの所在を確認するため、借受人又は運転者の家族、親族、勤務先等の関係者への聞き取り調査や車両位置情報システムの作動等を含む必要な措置をとるものとし、

3 第1項に該当することとなった場合、借受人又は運転者は、第28条の定めにより当社に与えた損害について賠償責任を負うほか、レンタカーの回収及び借受人又は運転者の探索に要した費用を負担するものとし、

第6章 故障・事故・盗難時の措置

第24条（故障発見時の措置）借受人又は運転者は、使用中にレンタカーに異常又は故障を発見したときは、直ちに運転を中止し、当社に連絡するとともに、当社の指示に従うものとし、

第25条（事故発生時の措置）借受人又は運転者は、使用中にレンタカーに係る事故が発生したときは、直ちに運転を中止し、事故の大小にかかわらず法台上的措置をとるとともに、次に定める措置をとるものとし、

(1) 直ちに事故の状況等を当社に報告し、当社の指示に従うこと、

(2) 前号の指示に基づきレンタカーの修理を行う場合は、当社が認めた場合を除き当社又は当社が指定した工場で行うこと、

(3) 事故に関し当社及び当社が契約している保険会社の調査に協力し、及び要求する書類を遅滞なく提出すること、

(4) 事故に関し相手方と示談その他の合意をするときは、あらかじめ当社の承諾をうけること、

2 借受人又は運転者は、前項の措置をとるほか、自らの責任において事故を処理し、及びかいけつするものとし、

3 当社は、借受人又は運転者のため事故の処理について助言を行うとともに、その解決に協力するものとし、

第26条（盗難発生時の措置）借受人又は運転者は、使用中にレンタカーの盗難が発生したときその他の被害を受けたときは、次に定める措置をとるものとし、

(1) 直ちに最寄の警察に通報すること、

(2) 直ちに被害状況等を当社に報告し、当社の指示に従うこと、

(3) 盗難、その他の被害に関し当社及び当社が契約している保険会社の調査に協力し、及び要求する書類等を遅滞なく提出すること、

第27条（使用不能による貸渡契約の終了）使用中において故障、事故、盗難その他の事由（以下「故障等」といいます。）によりレンタカーが使用できなくなったときは、貸渡契約は終了するものとし、

2 借受人又は運転者は、前項の場合、レンタカーの引き取り及び修理等に要する費用を負担するものとし、当社は受領済みの貸渡料金を返還しないものとし、ただし故障等が第3項又は第5項に定める事由による場合はこの限りでないものとし、

3 故障等が貸渡し前に存した瑕疵による場合は、新たな貸渡契約を締結したときは、借受人は当社から代替レンタカーの提供を受けることができるものとし、なお、代替レンタカーの提供条件については、第5条第2項を準用するものとし、

4 借受人が前項の代替レンタカーの提供を受けないときは、当社は受領済みの貸渡料金を全部返還するものとし、

5 故障等が、借受人又は運転者及び当社のいずれの責にも帰すべからざる事由により生じた場合は、当社は受領済みの貸渡料金を、貸渡しから貸渡契約の終了までの期間に対応する貸渡料金を差し引いた残額を借受人に返還するものとし、

6 借受人及び運転者は、本条に定める処置を除き、レン

タカーを使用できなかったことにより生ずる損害について当社に対し、本条に定める以外のいかなる請求もできないものとし、

第7章 賠償及び補償

第28条（賠償及び営業補償）借受人又は運転者は、借受人又は運転者が使用中に第三者又は当社に損害を与えたときは、その損害を賠償するものとし、

ただし、当社の責に帰すべき時による場合を除きます、

2 前項の当社の損害のうち、事故、盗難、借受人又は運転者の責に帰すべき事由による故障、レンタカーの汚損・臭気等により当社がそのレンタカーを利用できないことによる損害については料金表の定めるところによるものとし、借受人または運転者はこれを支払うものとし、

第29条（保険及び補償）借受人又は運転者が第28条第1項の賠償責任を負うときは、当社がレンタカーについて締結した損害保険契約及び当社の定める補償制度により、次の限度内の保険金又は保証金が支払われます、

(1) 対人補償…1名につき 無制限（自動車損害賠償責任保険による金額を含む）、

(2) 人身補償…1名につき最大 3,000万円まで

(3) 対物補償…1事故につき 無制限（免責金額5万円）

(4) 車両補償…1事故につき 時価まで（免責金額5万円）

2 保険約款又は補償制度の免責事由に該当する場合には、第1項に定める保険金又は保証金は支払われません、

3 保険金又は保証金が支払われない損害及び第1項の定めにより支払われる保険金額または保証金を超える損害については、借受人又は運転者の負担とします、

4 当社が借受人又は運転者の負担すべき損害金を支払ったときは、借受人又は運転者が、直ちに当社の支払い額を当社に弁償するものとし、

5 第1項に定める損害保険契約の保険料相当額及び当社の定める補償制度の加入料相当額は貸渡料金に含ます、

第8章 貸渡契約の解除

第30条（貸渡契約の解除）当社は借受人又は運転者が使用中にこの約款に違反したとき、又は第9条第1項各号のいずれかに該当することとなったときは、何らの通知、催告を要せずに貸渡契約を解除し、直ちにレンタカーの返還を請求することができるものとし、

この場合、当社は、受領済の貸渡料金を借受人に返還しないものとし、

第31条（同意契約）借受人は、使用中であっても、当社の同意を得て事項に定める解約手数料を支払った上で貸渡契約を解除することができるものとし、この場合、当社は受領済の貸渡料金から、貸渡しから返還までの期間に対応する貸渡料金を差し引いた残額を借受人に返還するものとし、

2 借受人は、前項の解約をするときは、次の解約手数料を支払うものとし、

解約手数料＝〔（貸渡契約期間に対応する基本料金）－（貸渡しから返還までの期間に対応する基本料金）〕×50%

第9章 個人情報

第32条（個人情報の利用目的）当社が借受人又は運転者の個人情報を取得し、利用する目的は次のとおりです、

(1) レンタカーの事業許可を受けた事業者として、貸渡契約締結時に貸渡証を作成する等、事業許可の条件とし

て義務付けられている事項を遂行するため、

(2) 借受人又は運転者に、レンタカー及びこれらに関連したサービスの提供をするため、

(3) 借受人又は運転者の本人確認及び審査をするため、

(4) レンタカー、中古車、その他の当社において取り扱う商品及びサービス等の提供、並びに各種イベント、キャンペーン等の開催について、宣伝印刷物の送付、eメールの送信の方法により、借受人又は運転者にご案内するため、

(5) 当社の取り扱う商品及びサービスの企画開発、又はお客様満足向上策を目的として、借受人又は運転者にアンケート調査を実施するため、

(6) 個人情報を経営的に集計、分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成するため、

2 第1項各号に定めていない目的で借受人又は運手者の個人情報を取得する場合には、あらかじめその利用目的を明示して行います、

3 当社は次の場合を除き個人情報を第三者に提供することはいたしません、

(1) 借受人の同意を得ている場合、

(2) 法令に基づく場合、

(3) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、借受人の同意を得ることが困難であるとき、

(4) 公衆衛生の向上または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、借受人の同意を得ることが困難であるとき、

(5) 国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、借受人の同意をえることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき、

第10章 雑則

第33条（相殺）当社は、この約款に基づく借受人又は運転者に対する金銭債務があるときは、借受人又は運転者の当社に対する金銭債務といても相殺することができるものとし、

第34条（消費税）借受人又は運転者は、この約款に基づく取引に課される消費税（地方消費税を含む）を当社に対して支払うものとし、

第35条（遅延損害金）借受人又は運転者及び当社は、この約款に基づく金銭債務の履行を怠ったときは、相手方に対して年率14.6%の割合による遅延損害金を支払うものとし、

第36条（細則）当社は、この約款の細則を別に定めることができるものとし、その細則はこの約款と同等の効力を有するものとし、

2 当社は、別に細則を定めたときは、当社の営業店舗に掲示するとともに、当社の発行するパンフレット、料金表等にこれを記載するものとし、これを変更した場合も同様とします、

第37条（合意管轄裁判所）この約款に基づく権利及び義務についての紛争が生じたときは、訴額のいかんにかかわらず当社の本店、支店又は営業所の所在地を管轄する簡易裁判所をもって管轄裁判所とします、

附則
本契約は、平成23年5月1日から施行します、